

医学部第2学年 別表(1)

	コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)	コマ数等	時間数
前期	基礎医科学Ⅰ 生理学 (生体調節機能学部門)	A 生化学	100	血液の生化学 脂質の生化学 細胞内情報伝達 タンパク質特論	生化学 3 生化学 5 生化学 3 生化学 3	28
		B 解剖学(顕微解剖学部門)	100	組織の構造と個体発生	解剖学(顕微解剖学部門) 15	30
		C 解剖学(肉眼解剖学部門)	300	運動器系の解剖 神経系の解剖 循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門) 12 解剖学(肉眼解剖学部門) 12 解剖学(肉眼解剖学部門) 15	78
		D 生理学(生体制御学部門)	300	神経・筋の生理 中枢神経の生理	生理学(生体制御学部門) 12 生理学(生体制御学部門) 19	62
		E 生理学 (生体調節機能学部門)	200	血液・造血の生理 呼吸の生理 体温の生理 循環の生理	生理学(生体調節機能学部門) 5 生理学(生体調節機能学部門) 8 生理学(生体調節機能学部門) 2 生理学(生体調節機能学部門) 7	44
		F 微生物学	200	免疫の働きを担う器官、細胞と分子 免疫の生理学的と病理学的役割	微生物学 12 微生物学 9	42
			合否	生化学実習	※ 8	16
			合否	English for Global Communication (B)	英語 ○ 8	16
			合否	日本語対話法	生理学(生体制御学部門) ○ 8	16
			合否	生命(いのち)の講座	生理学(生体制御学部門) ○ 7	14
			合否	病院体験実習	解剖学(肉眼解剖学部門) ※ 23	46
	医学総論Ⅰ 生理学(生体制御学部門)		合否			
前期合計		6ブロック	1200		219	438
後期	基礎医科学Ⅱ 生理学 (生体制御学部門)	G 薬理学(医科薬理学部門)	200	生体と薬物 自律神経・神経筋接合部の薬理	薬理学(臨床薬理学部門) 15 薬理学(医科薬理学部門) 11	52
		H 解剖学(顕微解剖学部門)	100	ヒトの時間生物学	解剖学(顕微解剖学部門) 10	20
		I 生理学(生体制御学部門)	100	感覚の生理	生理学(生体制御学部門) 14	28
		J 生理学 (生体調節機能学部門)	300	内分泌の生理 消化器の生理 生殖器の生理 代謝の生理 腎・尿路の生理 病態生理	生理学(生体調節機能学部門) 7 生理学(生体調節機能学部門) 5 生理学(生体調節機能学部門) 3 生理学(生体調節機能学部門) 3 生理学(生体調節機能学部門) 6 生理学(生体調節機能学部門) 8	64
		K 微生物学	200	細菌と真菌	微生物学 22	44
		L 微生物学	200	寄生虫 ウイルス	微生物学 6 微生物学 13	38
		M* 解剖学(顕微解剖学部門)	200	消化器・生殖器の解剖 リンパ・内分泌・感覚・外皮の解剖	解剖学(顕微解剖学部門) 11 解剖学(顕微解剖学部門) 12	46
			合否	肉眼解剖学実習	解剖学(肉眼解剖学部門) ※ 80	160
			合否	組織学実習	解剖学(顕微解剖学部門) ※ 52	104
	後期合計	7ブロック	1300	*ブロックMのコマ数・時間数の合計は前期合計に加算		
	前後期合計	13ブロック	2500		255	510
					474	948
				必修ユニット数	31ユニット	
				実習ユニット数	4ユニット	
				演習ユニット数	3ユニット	
				合計ユニット数	38ユニット	

*ブロックMは組織学実習と関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

項 目	不合格ブロック・ ユニット数	合格基準点	判 定
定期試験	0	—	進級※
	1～5	—	再試験受験資格あり
	6以上	合格基準点総和(1,500点)以上 合格基準点総和(1,500点)未満	〃 留年
再試験	0	□	進級※
	1以上		留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級には演習及び実習を含む全てのユニットの合格が必要